

明日から赤いダットサンで疾走！

大学時代、新入生のオリエンテーションが大学の富士農場であり、その時のことが私の人生に大きな影響を与えた。今から40数年前、開発途上国の時代に、アフリカやアジア、アメリカ、ヨーロッパなどで、休学して1年間の海外実習を終えた先輩は光り輝いていた。バングラデッシュに行った先輩が「シルクハットから地下足袋まで、何でも似合う人間になろう」といった言葉が懐かしい。どんな場面でも人間としての魅力を感じさせるということだろう。その初心（うぶ）な大学一年生がその時の気持ちのまま突っ走って、いよいよ背広を脱ぐこととなった。赤いダットサントラックで西山地方を颯爽と駆け回って、地域のためにこの思いをつなげていきたい。
(常務理事 藤本人寿)

【地域開発部】

研究
報告

協同活動へ参加する人は、信用・共済事業を積極的に利用する！

昨年度、JA長野中央会と共同で実施した「協同活動の実施効果にかかる調査研究－JA上伊那を事例として－」の研究成果を報告します。(主任研究員 西井賢悟)

組合員はなぜJA事業を利用するのか？

さまざまな金融機関や保険会社がある中で、組合員はなぜJAの信用・共済事業を利用するのでしょうか。商品（仕組み）が優れているからでしょうか？職員の専門性・スキルが高いからでしょうか？それらもちろん大切なのですが、調査の結果、組合員がJA事業を選択する主たる動機は、**JAに対する親近感と顔なじみの職員の多さ**であることが分かりました。

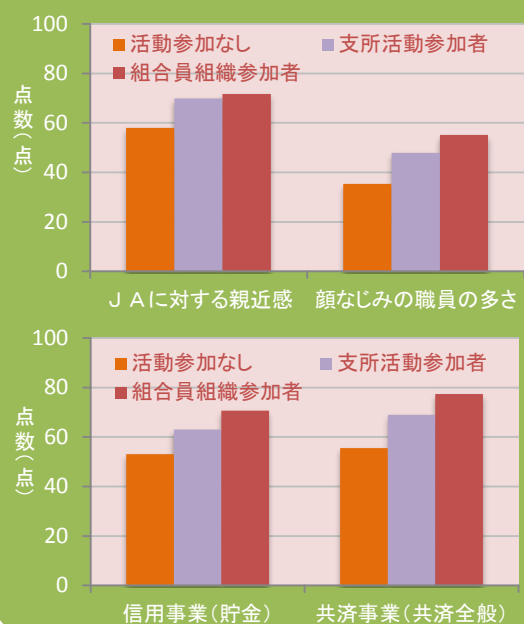
協同活動と事業利用の因果関係

協同活動（支所活動や組合員組織活動）への参加者は、非参加者に比べてこれら二つの意識が有意に高くなっています（図・上段）。つまり、**協同活動への参加→親近感の向上・顔なじみの職員の増加→信用・共済事業の利用**、という関係性が成立しているわけです。

協同活動を重層的に展開する！

また、支所活動と組合員組織参加者を比べると、後者の利用度合いがより高くなっています（図・下段）。この結果に基づけば、まずは支所活動で広く親近感を育み、それをベースに新たなグループづくりや既存組織への参加を働きかけることが重要といえます。**信用・共済事業の競争力は、協同活動を重層的に展開する中で一層高まる**と考えられます。

図 活動参加状況別に見た組合員の意識（上段）と事業の利用度合い（下段）



【人材銀行局】

職場
から

お近くのJAで働いてみませんか？

JA中野市
玄関前



今回ご紹介する寺澤榮子さん（向かって右の方）、小川紗苗さん（向かって左の方）は、かつてJA中野市以外のJAに就労されておりました。現在は、JA中野市の総務企画部経理課にて、活躍をされています。

派遣法の改正により離職後1年間は元の勤務先への派遣が禁止となったため、元の勤務先への就業紹介は原則としてできません。一方において、今まで培った職務経験を活かせる職場のご紹介への要請が増えています。

このため人材銀行局では、離職者の再雇用先として近隣JAに対して働きかけができるよう、随時、新規登録者のお願いをしております。

職員
紹介

頑張ってます。派遣職員！

齊藤恵美子さん



外国人からの問いかけに、『片言で気楽に答えることから始めています』と謙遜される齊藤さん。今や、株式会社長野県協同電算の業務の要として頑張っておられます。

彼女のマイブームは『外国人とのちょっとした会話』だそうです。善光寺の御開帳の際は、訪れた外国人との会話もさぞかし弾んだことでしょう。

お住まいの関係で通勤は長野電鉄です。朝は湯けむり号（小田急ロマンスカー）、帰りはスノーモンキー（成田エクスプレス）とちょっと贅沢？な通勤風景ですね。

～編集後記～

厳しい暑さが日増しに迫る季節となりましたがいかがお過ごしでしょうか。

様々な情報と研究報告を全国・県下JAにお届けできるように努めてまいります。

皆様方からの調査研究に関するお問い合わせや人材銀行へのご相談をお待ちしております。

Y

<発行所>

一般社団法人 長野県農協地域開発機構

長野市大字南長野北石堂 1177 番地 3 JA 長野県ビル 11 階

TEL 026 (236) 3500 (代表) / FAX 026 (236) 3505